



平成30年 第14週 平成30年4月2日（月）～平成30年4月8日（日）

熊本市 感染症発生動向調査 速報**突発性発疹が増えています**

生まれて初めての高熱は、この病気が多いようです。熱が下がるのと前後して、赤い発疹が出るのが特徴です。

◆どんな病気？

ヒトヘルペスウイルス6型・7型による感染症で、生後4ヶ月～1歳の乳幼児に多い病気です。2～3歳までにほとんどの子どもが感染します。感染しても症状の出ない不顕性感染が20～40%とされています。

- ・症状……………38℃～40℃の高熱が2～4日続き、解熱の前後におなかや背中、腕や足、顔に赤い発疹が出ます。下痢を伴うこともあります。
- ・潜伏期間…10日程度
- ・感染経路…唾液に含まれるウイルスが、赤ちゃんの口や気道から入って感染すると考えられていますが、よくわかっていない部分もあります。
- ・流行期……季節性はなく、一年中みられます。

**◆かかったらどうすればいいの？**

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は？

- ・多くの場合は重い合併症もなく、予後も良いため、特に予防が問題となることはありません。

期 間		平成30年 13週		平成30年 14週	
		3/26～4/1		4/2～4/8（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	40	1.60	15	0.60
RSウイルス感染症	➡	3	0.19	5	0.31
咽頭結膜熱（プール熱）	➡	1	0.06	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	25	1.56	22	1.38
感染性胃腸炎	➡	79	4.94	67	4.19
水痘（みずぼうそう）	➡	4	0.25	0	0.00
手足口病	➡	13	0.81	9	0.56
伝染性紅斑（りんご病）	➡	0	0.00	1	0.06
突発性発しん	➡	5	0.31	18	1.13
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）	➡	4	0.80	4	0.80
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	2	0.40	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	➡	2	0.40	5	1.00